

個人投資家向け説明会主な質疑応答 (2010年9月および10月開催)

Q 株主還元の考え方を教えてください。

A 当社では、安定的な配当金による株主還元を重視しています。従って、株主優待制度は導入しておりません。

Q 中期経営計画V2012の内容はとても意欲的だと思いますが、海外事業をどのように拡大していきますか？M&Aを検討していますか？

A 例えば、携帯電話機については、この6月から（株）カシオ日立モバイルコミュニケーションズと事業を統合しており、同社の海外におけるこれまでの実績を活用していきます。また、生体認証については、南アフリカにおいて国民IDシステムを手掛けており、さらなる事業の拡大を目指していきます。

海外事業を拡大していくために、提携やM&Aといった手段も選択肢として考えています。決定事項がある際には随時公表してまいります。

Q 生体認証の技術に強い関心を持ちました。どのような事業機会があるのでしょうか？

A 出入国の際、指紋などで人物を照合するeパスポートは、各国の政府向けに納入しています。また、ボリビアでは、大統領選挙で有権者の二重登録を防止するための指紋照合システムを構築しました。国内では、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが発行する年間スタジオ・パスでの入場の照合に対し、NECの顔認証技術が活かされています。

この領域では世界30カ国以上に、200件以上のシステムを納入した実績があり、グローバルに開発センターやコンピテンスセンターを構築し、事業を拡大していきます。

これらのパブリックセーフティ分野は、現在では約200億円規模の事業ですが、中期経営計画V2012では2012年度に1,000億円にする計画です。

Q

電気自動車用リチウムイオン二次電池の事業について教えてください。電気自動車は将来普及すると思うのですが、現状どのような取り組みをしていますか？

A

日産自動車（株）と連携しており、同社がこの冬発売する電気自動車リーフのリチウムイオン二次電池を手がけています。NECでは、電池の中核部品となる電極を生産し、日産自動車とNECの合併会社で電池を生産しています。

電極はこの7月から量産を開始し、順調に事業展開を進めています。中期経営計画V2012では、自動車向けを核とした当社の電池事業の売上を2012年度に1,000億円にする計画です。

Q

為替の影響について教えてください。

A

当社では、外貨建て取引の大部分を占めるドル建ての売り買いが均衡しているため、営業利益への影響はほとんどありません。しかし、円高によりNECの顧客がIT投資などを抑制するといった間接的な影響を受けることはあります。

Q

個人株主への対応についてどのように考えていますか？
今日のような個人投資家向け説明会は今後も定期的に開催する予定はありますか？
また、NECの活動について紹介するショールームはありますか？

A

NECは企業向けビジネスの比率が高く、現在は個人の方を対象としたショールームはありません。当社では、ホームページでの情報開示を強化しており、本日のような個人投資家向け説明会とあわせて当社の事業をご理解いただくよう努力しています。個人投資家向け説明会は、今年4月に初めて開催しましたが、今後もこのような説明会を継続的に実施していきたいと考えております。